環境配慮事例集

(構想・計画段階)

段階	環境配慮事項	環境配慮の内容例
自然環境の保全 構想・計画(計画地選定、計画等)	自然環境保全に配慮した計画の採用	・自然公園区域、緑地保全地区等への配慮
	地形・地質の改変抑止に配慮した用地選定	・貴重な地形・地質が存在する地域への立地の回避
	野生生物の生息・生育、渡来、繁殖空間の確保の 配慮した用地選定	・野生生物の重要な生息・生育地域への立地の回避
	植生自然度の高い地域への立地の回避	・植生調査結果に基づく植生自然度の高い地域への立地の回避
水資源の保全と有効活用 構想・計画(計画地選定、計画等)	現在の水循環、水利用への影響の検討	・上水道等水源地近傍への立地回避
地域特性を活かした景観の保全と 創造 構想・計画(計画地選定、計画等)	周辺景観との調和に配慮した用地の選定等	・供用後の周辺との景観の調和を考慮した事業計画地の選定
歴史・伝統・文化の保存と継承 構想・計画(計画地選定、計画等)	文化遺産等の回避	・指定文化財や歴史的価値の高い建築物等へ影響を与えない事業 計画地の選定
	埋蔵文化財の保全・整備	・現状保存、移転保存等適切な保全措置の実施
その他 構想・計画(計画地選定、計画等)	周辺の土地利用等との整合	・周辺の土地利用状況を勘案した事業計画地の選定
	既存施設の有効活用	・既存施設の活用による環境影響削減策の検討
	環境調査の実施	・事業による環境への影響に関する早期の段階での調査の実施

(設計段階)

段階	環境配慮事項	環境配慮の内容例
自然環境の保全 設計(施設規模、配置、構造選定)	地形・地質の改変抑止	・地形・地質改変を最小限にするための施設配置の採用
	動植物の生育・生息環境の保全	 ・既存樹木の活用 ・実のなる樹種の植栽 ・生物の水場の設備 ・繁殖期の工事回避 ・河川等における小動物、魚類などに配慮した護岸構造の採用 (具体例) ・魚道、両生類の昇降路の設置等 ・瀬、淵の連続性、浮き石の多い多孔質な河床・水際の形成
	野生生物の移動性の確保、落下死の防止	・道路整備等における野生生物に配慮した施設の採用 (具体例)・カルバートボックス、オーバーブリッジ・動物進入防止柵・動物の脱出用スロープ
	植生・代替生息地の確保	・自然地域からの回避が不可能な場合における移植等による代替 生息地の確保
	伐開地等の林縁の復元	・伐開地における在来種での植栽
	生育生息空間の整備 (ビオトープの整備や緑のネットワークの形成等)	・在来種を意識したビオトープ整備 ・街路樹等の適切な配置による緑のネットワークの形成
	現存する植生の保全	・現存する樹木・樹林の保全

段階	環境配慮事項	環境配慮の内容例
廃棄物・リサイクル対策の推進 設計(施設規模、配置、構造選定)	廃棄物発生抑制工法の採用	 ・打ち込み型枠の採用 ・鋼成型枠、鋼製足場の採用 ・規格品、2次製品の採用 ・鋼製、PC床版の採用 ・鉄筋工事におけるフープ、スターラップの場外加工 ・包装・梱包材の簡素化 ・シールドや基礎杭の工法での泥水、安定剤使用抑制 ・共同施工による合理化 (具体例) ・電気、ガス、上下水道、下水道の共同溝方式
	廃棄物の現場内での有効活用	 ・路上表層再生工法、路上再生路盤工法の適用可能箇所への採用 ・発生材の抑制対策の推進 (具体例) ・切り盛り土量のバランス検討 ・事業内、事業間、工区間流用による発生残土の活用 ・発生自然石等有在の活用
	再資源化施設への搬入	・コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、その他路盤廃材の再資源化・再利用可能な木くずの再資源化
	利用可能な工種での再生品の使用	・路盤材、建材へのリサイクル製品の採用
	維持管理に配慮した設計の検討(耐久性のある製品の採用等)	・長期使用型資材の採用
省エネルギー活動の促進 設計(施設規模、配置、構造選定)	エネルギーの効率的利用	・コージェネレーションシステムの導入・地域冷暖房の導入・建築物の断熱性の向上(具体例)・外気の流入、遮断が可能な建具の採用・複層ガラス、熱反射ガラスの採用

段階	環境配慮事項	環境配慮の内容例
省エネルギー活動の促進 設計(施設規模、配置、構造選定)	自然エネルギー利用	・太陽光発電の導入 ・自然光に配慮した照明器具の配置 ・建築物における自然光を取り入れる工夫
	未利用エネルギーの利用	・下水排熱の活用・汚泥焼却排熱の活用・ごみ焼却余熱の活用
水資源の保全と有効活用 設計(施設規模、配置、構造選定)	水循環の確保	・透水性舗装の採用・雨水浸透マスの設置
	適切な水利用	・中水道の導入・雨水利用施設の採用・節水、未利用水利用の推進(具体例)・節水型水洗器具の導入・植栽の散水やトイレへの雨水の活用
地球環境への配慮 設計 (施設規模、配置、構造選定)	環境に負荷の少ない資材使用	・長期使用型資材の採用・木材型枠の効率的、合理的利用
	再生材の使用	・再生材を使用した木材型枠の採用
	間伐材の活用	・間伐材を使用した木材型枠の採用
大気環境等の保全 設計(施設規模、配置、構造選定)	無振動工法の採用	・杭打ち作業における無振動工法の採用
	無騒音工法の採用	・杭打ち作業における無騒音工法の採用
	電波障害、日照障害、風害等の防止	・電波障害等を発生させない施設配置

段階	環境配慮事項	環境配慮の内容例
大気環境等の保全 設計(施設規模、配置、構造選定)	大気汚染、騒音、振動防止設備の採用	 ・破砕、圧縮等の廃棄物処理施設における防音対策の採用 ・煤煙発生設備からの汚染物質削減策の採用 (具体例) ・バグフィルター等集塵装置の設置 ・燃料設備の改修 (事例) ・灯油、LPG、LNGの使用設備 ・都市ガス、硫黄分の少ない燃料使用設備 ・重油を燃料としている設備の見直し ・低NOx対策などの講じられた低公害機器の設置 ・低公害型重機の使用 ・粉塵等の飛散防止 ・遮音壁の設置 ・緩衝施設帯の設置 ・大気浄化能力の高い街路樹による植栽
	交通対策の検討	 ・工事車両の排ガス、騒音、振動抑制 (具体例) ・運搬車両台数、運転時間帯、運搬ルート等運行方法の事前 検討 ・低騒音型作業機械の採用 ・防音パネルシートの採用 ・近隣住民への工事内容の周知 ・環境監視の実施 ・交通流の円滑化、交通の分散化、公共交通機関の利用促進に配慮した路線選定や施設配置の採用

段 階	環境配慮事項	環境配慮の内容例
水質の保全 設計(施設規模、配置、構造選定)	水質汚濁防止対策の採用	 ・適切な排水処理施設の設置 ・廃棄物埋立処分場からの排水の適切な処理 ・廃棄物埋立処分場の地下水汚染防止対策(漏水防止設備) ・水質汚濁物質排出状況の測定、監視設備の設置 ・公共下水道への接続 ・合併処理浄化槽等汚水処理施設の設置 ・河川、水路整備における水質浄化対策の推進(具体例) ・木炭吸着の採用 ・礫間浄化の導入 ・沈砂池、沈殿池の設置など汚泥水発生抑制工法の採用
	土壌汚染防止対策の採用	・汚染調査 ・汚染土壌の適正処理 ・汚染土の処分時における浸透、飛散の防止
光害のない美しい星空の確保 設計(施設規模、配置、構造選定)	照明範囲の外に照射される「漏れ光」の防止	・光源の適切な配置、上向き光の防止措置の実施
身近な緑とのふれあいの確保 設計 (施設規模、配置、構造選定)	緑化空間の確保	・敷地、屋上の緑化・地元種を用いた緑化・野生植物の移植等
	自然環境に配慮した緑化(現地木・地域特性に配慮した樹種による緑化等)	・周辺植生と調和した樹種の選定・在来植生が速やかに復元できる樹種や種子の選定
	周辺地域の緑地空間との調和	・施設の構造、色彩検討時の配慮 ・施設周辺の修景(フェンス、植栽) ・切土法面の修景(植栽、修景ブロック、地元種草本による緑化)
身近な水辺環境の保全と創造 設計(施設規模、配置、構造選定)	自然に配慮した親水空間の整備	・コンクリート護岸の抑制 ・水辺とのアクセスポイントへの木や石の採用 ・水生生物に配慮した護岸植栽の採用

段階	環境配慮事項	環境配慮の内容例
地域特性を活かした景観の保全と 創造 設計(施設規模、配置、構造選定)	周辺環境との景観の調和	・自然石風ブロックの採用・施設の構造、色彩検討時の配慮
その他 設計(施設規模、配置、構造選定)	請負者から作業員すべての環境意識の向上	・環境配慮に関する啓発資料の配付